

❖ 情報セキュリティの三大要素 ❖

情報セキュリティとは、企業や組織がもっている情報資産を危害や損傷を受けないように保護し、不測の事態が発生したときは速やかに正常な状態に回復することを意味します。

情報セキュリティは、国際規格ISO/IEC27001で定められた三大要素（①機密性②完全性③可用性）を維持していくことが基本となっています。

- 【①機密性】 漏洩対策ができていない状態か（認可された利用者だけが情報資産にアクセスできることを表します）
- 【②完全性】 改ざん等がされずに正しい情報であるか（情報資産の内容が常に正しい状態を保っていることを表します）
- 【③可用性】 必要な時にいつでも必要としている情報へアクセス可能である状態（システムの故障や第三者からの妨害に備えること）

上記のような三大要素をふまえ、社内の対策について再チェックしてみたいはいかがでしょうか。

※ 今月の豆知識 ※

～ 凄い！2018年の年賀葉書の隠し文字 ～

2018年の年賀葉書には、色んな隠し文字や隠し絵があったの分かりましたか？
1枚の年賀葉書にこんなに凝った隠し文字や隠し絵があったなんてビックリしました^^；
その中でも、富士山に見立てた犬の顔を描いたインクジェット紙『犬のフジさん』の隠し文字・隠し絵をご紹介します！皆さんもぜひ、お家に来た年賀葉書で確認してみてください！！



犬の鼻の穴が『フジ（富士）』の隠し文字に！



犬の足跡の爪のところに『F U J I（富士）』と逆さの隠し文字が！
しかも肉球の真ん中が富士山の形に！



犬のしっぽの部分に『ふじ』という隠し文字が！

そして、下の組のところに『コーギー』、番号のところに『ダックスフント』の隠し絵が！



消印の線の部分、年賀と2018の文字の間に『あけまして』『おめでとうございます』とマイクロ文字で隠し文字が！
これは肉眼ではさすがに見えない。。。このマイクロ文字は、年賀葉書の偽造防止策としても使われているそうです。



赤松事務機株式会社
代表取締役 片松 保佳

『社長のつぶやき』

VOL.3

早いもので2018年も1ヶ月が終わりました。これをあと11回繰り返すと2019年に・・・なんて考えると一年は本当にあつという間ですね。だからこそ一日一日目標を持って有意義に過ごしたいものです。←私はできていないので余計にそう感じます(> <) とにかく、昨日より今日、今日より明日、一歩ずつ「前へ」進んでいきたいです。

さて、1月後半に「580億円相当もの仮想通貨が流出した(盗まれた)事件」が報道されました。皆様も同様にお感じだと思いますが、「すごい事件だなあ」と思う反面、「イマイチ現実味がないなあ」とも思えますよね。おそらく「580億円」という金額と「仮想通貨」という言葉に現実感がないのだと思います。ここで唐突ですが、少し思い出して下さい。5年前の2013年(ドラマで半沢直樹が流行った年ですね)くらいでビットコインなどに代表される「仮想通貨」という言葉や概念を知っていた方はどれだけいらっしゃいましたか? また、ほんの20分程度で580億円ものお金を「見つからないように」持ち出す手段を思いつく方がいらっしゃいましたか?

たった5年前では想像すらできなかったことが今、現実起こっています。おそらく5年後の2023年には今では到底考えられないようなテクノロジー出現や生活の変化が起こっていることは容易に想像できます。しかも過去5年間に経験した変化のスピードよりも今後5年間の変化のスピードのほうがもっと速くなるとも言われています。その時、人々の生活はどうなっているのか? ビジネスはどうなっているのか? それは誰にもわかりませんが、ヒントを得ることはできます。それは「今、起こっている現象(こと)を理解すること」です。今の延長線上に未来はあります。

「AI」「仮想通貨」「ブロックチェーン」「RPA (Robotic Process Automation)」「シンギュラリティ」などは「今起こっていること」を理解するために知っておいた方がいい言葉の代表です。なかなか横文字は入ってこないなあという方、できるだけ分かりやすくご説明します。私もしくは弊社社員にお気軽にお尋ね下さい。

今月も最後までお読みいただきありがとうございました。

どこまで知ってる? 数の単位

数の単位ってどこまで知っていますか?

数年前になりますが、NHKの番組で数の単位を歌った歌があって友人とその子どもが歌っていたのを思い出しました。聞き慣れない単位がたくさん歌の中に出てきて、それを完璧に歌っている子どもに関心した事を覚えています(^ ^) 英語の歌の様に、リズムに合わせると覚えやすいのかもしれないね~

一、十、百、千、万、億、兆、京(けい)、垓(がい)、秭(じょ)、穰(じょう)、溝(こう)、澗(かん)、正(せい)、載(さい)、極(ごく)、恒河沙(ごうがしゃ)、阿僧祇(あそうぎ)、那由他(なゆた)、不可思議(ふかしぎ)、無量大数(むりょうたいすう)

日本の数の単位の最高峰は『無量大数』なんですね。

後半部分はお経を唱えている感じがするのはわたしだけでしょうか・・・^^;



IT用語

知っておいて損はしない!
かも・・・

アイティ-リテラシー

ITリテラシー

『リテラシー』とは、読み書きする能力・活用する能力という意味で、情報機器やインターネットの普及に伴い、【情報】とか【IT】という言葉結び付けて使われる様になりました。

つまり、ITリテラシーとは情報機器やネットワークを利用して集めた情報を自分の目的に合わせて活用できる能力のことを指します。

『ITリテラシーが高い、低い』や『ITリテラシーをよく理解している』という感じで使用される事が多いです。



弊社では、情報セキュリティ対策商品、UTM(統合脅威管理)等の取扱いをしております!
HPでも紹介しておりますのでぜひご覧いただければと思います!!!
対策は早目にしましょう!